地域に開かれた障がい者施設を目指す広報誌

えみふる

2023年(令和5年)
3・4月号

陶器にきざまれる絵本の世界。

えみふるでは、地域と障がい者との交流を目的として、2022年2月から神保町の「ブックハウスカフェ」「山形屋紙店」との講座を開催しています。今号は神保町との地域交流から生まれた公開講座をご紹介します。

地域交流特集　～地域との交流を通じてえみふるの活動を紹介します～

神保町からアート発掘！

「ブックハウスカフェ」とコラボの陶芸教室による絵本と陶芸との出会い。
「山形屋紙店」講師によるちぎり絵の新しい形とは？

講師・ボランティア紹介

この人に会いたい

定例講習会「水墨画」
(毎月第3金曜日)
講師　中野 淳子　先生

中野先生の最新作
「海辺にて」

水と墨と紙で万物を表現するという水墨画は、東洋の伝統的な芸術です。
国際墨画会の講師、中野先生は水墨画技法の基本を毎回丁寧に教えてくださるので、自然にさまざまな表現が身に付きます。
「身近な草花から精神性の高い幽玄世界まで表現します。知れば知るほど奥深いです」と中野先生。2021年には文部科学大臣賞も受賞されました。昨年10月に公開された映画「線は、僕を描く」でも注目されている水墨画。ぜひ体験してみてください。

次年度の講習会・リハビリテーションのお申込み受付中です

新年度の講習会・リハビリテーションについて、3月10日がお申し込み締め切りとなっていますが、空席がある講座については、引き続きお申し込みを受け付けています。下記えみふるお問合せ先まで、空席をご確認の上、お申し込みください。

利用者の作品のデザイン商品販売中

株式会社ELEPHANTがプロデュースする、障がい者によるアート作品の通販サイトでえみふるの利用者の作品が発売されました。下記Webサイトからご注文いただけます。詳しくはえみふるまでお問い合わせください。　https://elephant1215.theshop.jp/

3～4月のパン販売

11：45～ 販売スタート！

さくらベーカリー
3月　3月1日（水）
3月29日（水）
4月　4月5日（水）
4月26日（水）

カフェブンブン

3月	4月
15日（水）	19日（水）
27日（月）	24日（月）

パソナハートフル
3月8日（水）
4月12日（水）

場所：えみふる前
※売り切れ次第終了

養蜂体験希望受付中

養蜂体験のお申込みを受け付けています。
ご希望の方は下記までお問合せください。
定員を超えた場合、障がいをお持ちの方を優先とさせていただきます。

●実施日：毎週土曜日
●場所：明治大学猿楽町校舎
●時間：9:45～13:00ごろ
●定員：1回5名様まで
●対象：千代田区在住、在勤・在学の方

【お問い合わせ先】
社会福祉法人武蔵野会（指定管理者）
千代田区立障害者福祉センターえみふる
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台2-5
開館時間（通常時）9:00～21:00
（第2土曜日、12月29日～1月3日休み）
TEL　03-3291-0600
FAX　03-3291-0608
E-mail　emifuru@chime.ocn.ne.jp

公開講座「ココロのホンダナ」

協 力：ブックハウスカフェ　講師：田原千先生

土の触感と絵本の世界に癒されて

「陶芸は心身や脳に作用し、人を癒す力があります。土をこねたり、たたきつけたりすることで、ストレス解消にもなります」と話すのはえみふるの生活介護で陶芸を教えている講師の田原千先生。田原先生は新宿区の障がい者向けの教室にも携わり、長年の講師経験をお持ちです。田原先生が偶然、神保町にある子どもの本専門店「ブックハウスカフェ」に立ち寄ったことから、地域の親子や障がい者をつなぎ、何か面白いことができないか…という思いで陶芸体験教室「ココロノホンダナ」を企画しました。ブックハウスカフェ、えみふるを会場として交互に教室を開催し、地域の方からも好評をいただいています。

「ココロノホンダナ」では、「たたら作り」と呼ばれる技法で作った土の器に絵本「ジャミちゃん」「もったいないばあさん」「ほげちゃん」 のキャラクターのスタンプを押したり、引っかいて模様などを描いてから焼成し、後日出来上がった作品をお渡しします。絵本も陶芸も年齢問わず楽しめるもの。「作った食器を日常で使うことで、家族との会話が生まれたら良いなと思っています」と田原先生。「ココロノホンダナ」はブックハウスカフェで独自のイベントも開催するなど広がりを続けています。ブックハウスカフェやえみふるで、新しい世界に出会い、体験することを通じて、地域の方や障がい者とも交流していただくことを願い、今後も活動を続けていきます。

【SHOP　DATA】
ブックハウスカフェ
東京都千代田区
神田神保町2-5
北沢ビル1F
TEL:03-6261-6177

たたらづくりで作ったお皿に、絵本の「ジャミちゃん」のキャラクターのスタンプを押したり、イラストを描いたり。想像がふくらみます。

公開講座「ちぎり絵で富士山を作ろう！」

協 力：山形屋紙店　講師：田記有子先生

創造性と地域の伝統を感じる時間

神保町にある和紙店「山形屋紙店」は1879年創業の老舗で、戦禍をも逃れた蔵を持ち、様々な和紙を扱っています。店主、田記有子さんによる公開講座「ちぎり絵で富士山を創ろう」は、神保町の店舗での田記さんと職員との出会いから生まれました。店頭に並ぶ100種類を超える富士山の絵葉書を見て、職員が公開講座の開催をご相談したことから、講座が実現しました。

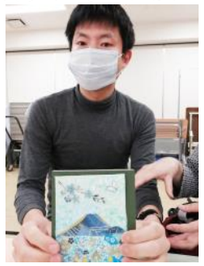
静岡県出身の田記さんは、お店で作る商品の端切れがもったいないと感じていました。そこである日、端切れを集めて富士山のちぎり絵を作り始めたのです。通常、図柄のない和紙を使うのがちぎり絵ですが、田記さんの作品は 和紙の図柄を活かしたコラージュのような独特の作風です。

2022年11月、山形屋紙店さんのご協力で、えみふるの公開講座として田記さんのちぎり絵の講座が開催されました。障がいの有無に関わらず、さまざまな方が集い、十人十色の富士山のちぎり絵が出来上がりました。日本の文化やＳＤＧｓにつながるちぎり絵の楽しさ、同じ題材でも無限の可能性があり、多くの学びがありました。田記さん、参加者の皆さん、ありがとうございました。

【SHOP　DATA】
山形屋紙店
東京都千代田区
神田神保町2-17
TEL:03-3221-7829

講師の田記先生が作ったちぎり絵。

繊細な作業ですが大人も子どもも夢中で取り組んでいました。



参加者の作品。 十人十色の作品になりました。

Emifurugram

～ある日のえみふる～

#地域活動支援センター

講習会「絵画」の様子。えみふるの絵画講座はとても本格的。先生が決めた構図を基に取り組まれています。この日は先生がうちわえびという珍しいエビをお持ちになり、海の香りがする講習会となりました。

#ふぁみりあ

利用者さんのお誕生日会をしました。誕生日ケーキを食べてお祝いしました！

おめでとうございます。

#生活介護

1月20日、一日外出で羽田空港に行ってきました。展望デッキからは海外に飛び立つ飛行機を観ることができました。

#ぷらっと御茶ノ水

月に2回はウォーキングに行って体力づくりをしています。皇居周辺の観光スポットやカフェ巡りなどを楽しんでいます。